



山口国体への県民参加について（平成 22 年 12 月）

先月発表された平成 22 年度県政世論調査によると、国体の認知度は 89%と、ほとんどの県民の皆さんは山口国体の開催をご存じですが、国体への参加や協力を希望する割合は、半数程度の 44%という結果になっております。

国体は、我が国最大のスポーツの祭典であり、山口国体では、正式・公開競技として 38 競技が県内各地で実施され、選手の皆さんが郷土の誇りを胸に、最高の力と技で一生懸命に競う姿を間近に観戦できる、またとない機会です。

県では、国体への県民参加の取組として、ボランティア活動をはじめ花いっぱい運動や国体募金などの取組を積極的に進められておりますが、私は、多くの県民の皆さんが国体を観戦・応援することも大変重要であると思います。

国体開催まであと 10 ヶ月。いよいよ来月からは、国体イヤーとなりますが、国体に対する県民の参加意識を更に高める取組も含めて、県民総参加の大会の実現に向け、今後どのように取り組まれるのかお伺いいたします。

〔二井県知事答弁〕

開催まで残り 300 日を切り、開催年となる来年は、県民の皆様の参加意識を更に高め、県民総参加につながる取組を、これまで以上に、積極的に推進をしていく必要があります。

これまでの国体県民運動の取組に加えまして、陸上競技場、水泳プールでの完成記念イベント、スポーツ教室の実施、各種イベントでの PR、「子ども国体

県民運動」の展開などにより、市町や競技団体等と一体となって、さらに盛り上げを図ることにいたしております。

特に、お示しの、競技会場での観戦・応援は、選手が活躍する大きな力になります。また、全国トップレベルの競技を肌で感ずることができる絶好の機会でもあります。

応援キャンペーンを積極的に展開し、学校・職場をあげての観戦・応援や、子ども会・自治会での観戦ツアーの実施などにより、多くの県民参加につなげていきたいと考えております。

私は、こうした取組により、一人でも多くの県民の皆様に国体に参加をしていただき、参加の喜びと感動を分かち合い、いつまでも心に残る素晴らしい大会になるように、今後とも全力で取り組んでまいります。